

学校だより

尼崎市立園和小学校
令和4年4月号

脱コロナに向けた つながりの再構築を！

校長 佐野 正信

桜やチューリップなど、校庭の花たちが、新学期の子どもたちの登下校を心待ちにしていました。

この度はお子さまのご入学・ご進級、誠にありがとうございます。本校は115名の新1年生と8名の転入生、そして10名の教職員を新たに迎え、令和4年度をスタートいたしました。本年度は、「脱コロナに向けたつながりの再構築」を一つのテーマとし、私たち教職員一同、子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の皆様と共に励んでまいります。引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



一人ひとりの中に必ずある

「宝の原石」を探す旅



日本の国には昔から「三つ子の魂百まで」という言葉があります。昔は数え年なので、今でいう満二歳には、既にその子の種となるものがほぼできているということになるのでしょうか。確かに世のお母さま方にお話を伺っても、「きょうだい一人一人、お腹の中にいる時から、動きもお腹をける強さもみんな違っていた。」とおっしゃいます。

今から20年以上前のこと、国の教育の方向性を審議する中央教育審議会という有識者会議にて「子どもの個性を育むことの大切さ」について議論がなされました。その場における一人の委員の発言が当時の報道に取り上げられました。「大事に育まなければ育たないようなものは個性とは呼ばない。個性とは、踏まれても倒れて

も頭をもたげてくるその子の持つ根本的なものである」と。結局、時代の流れの中で公教育における「個性重視」の方向性が決定されていくこととなりましたが、この時の報道は強く印象に残っています。

これまで教育現場で沢山の子どもたちと接していると、やはりどの子の中にも「宝の原石」は必ずあるということを感じます。その原石に早く気づけた子ほど、その後、大きく成長していくということ。そのためには、まわりの大人たちの「子どもの見方」がとても重要であると感じます。一方で、公教育は、社会性を身に付けさせる場でもありますので、本校の教員たちは、ダメなことはダメとしっかり叱ります。その分、子どもの頑張りを見逃さないよう一生懸命に子どもたちを見ていますが、どうしても見えないところは出てまいりますので、学年や学校全体で子どもたちの「宝探し」を進めてまいりたいと考えています。保護者の皆様には、担任や学年教員とつながっていただき、気づかれたことは遠慮なくお知らせください。どうぞよろしくお願いいたします。

4月の主な行事

7日(木)	着任式・始業式	12時下校
8日(金)	入学式(2~6年休業日)	
11日(月)	水曜校時 給食開始(2年生以上)	身体測定(6年)
12日(火)	離任式	身体測定(5年)
13日(水)	月曜校時 委員会活動	身体測定(3年)
14日(木)	身体測定(ひまわり)	内科検診(4-1, 4-2, 4-3)
15日(金)	身体測定(2年)	
18日(月)	身体測定(1年)	内科検診(3年, 5-1, 5-2)
19日(火)	1年給食開始	全国学力テスト(6年)
20日(水)	1年生を迎える会	
	内科検診(6年, 5-3, 5-4, ひまわり)	
21日(木)	1, 2, 3年参観・懇談(5, 6校時)	
	身体測定(4年)	尿検査
22日(金)	4, 5, 6年参観・懇談(5, 6校時)	尿検査
25日(月)	朝会 家庭訪問(5月2日まで)	13:30下校
26日(火)	聴力検査(ひまわり)	
27日(水)	聴力検査(5年)	
28日(木)	聴力検査(3年)	

※4年4組の内科検診は、5月6日に予定されています。

《裏面には本年度の主な学校行事の日程や学校ホームページに関するお知らせとお願いについて記載しています。》

〈教職員の異動のお知らせ〉

個人情報保護の観点から掲載をしていません。
ご理解ください。